

事務事業名	スポーツ推進委員活動事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	S36 終了		
H29作成課等名	生涯学習・スポーツ課	H29係等名	スポーツ振興係		H28担当課等名 生涯学習・スポーツ課			
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
	施策	26	スポーツの振興					
目的	対象(誰・何を)	市民		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	スポーツ推進委員の活動を通じて、市民スポーツの振興を図る。			飯田市の人口(人)	100957		
	向上させたい上位施策の成果指標	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:%			スポーツ推進委員数:人	34		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	スポーツ推進委員の企画運営した大会数:大会数		2	2	2	2	
	成果指標	スポーツ推進委員の活動回数(全市会議、研修・講習会指導)		70	95	90	84	
定性目標								
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ基本法に基づき、本市のスポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整、市民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導・助言を行う非常勤職員として、飯田市スポーツ推進委員(定員34名)を委嘱する。スポーツ基本法(平成23年法律第78号)の制定により、「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」に改称された。 ・スポーツ推進委員は、所属地区においても、地区公民館と連携して市民スポーツを推進する役割を担う。 ・スポーツ推進委員協議会を毎月開催し活動の方針・内容等を協議するとともに、事業・課題別の委員会を設置し事業実施や課題検討を行なう。 ・スポーツ推進委員協議会が主管して、誰もが気軽に楽しみ、体力の維持・向上につながるニュースポーツや軽スポーツ等の普及活動を行うとともに、スポーツ推進委員協議会の主管によりニュースポーツフェスティバルを企画開催する。 ・中学校区単位でのスポーツ関係者の懇談会を開催し、青少年スポーツの振興や住民スポーツの振興のための情報交換や研修を実施する。 ・各種研修会の開催参加により、スポーツ推進委員の資質向上を図る。 ・平成28年度末で2年の委員任期が満了し、改選となる。 							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1	スポーツ推進委員協議会定例会の開催		1	開催数	1	12回	
	2	スポーツ推進委員協議会各委員会の開催		2	開催数	2	29回	
	3	体育事業研究会・大会参加		3	各種大会研修会	3	12回	
	4	スポーツ推進委員の地区研究会、講習会への指導者派遣		4	指導者派遣回数	4	31回	
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		1,162	1,288	1,224	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		1,162	1,288	1,224				
人件費計(千円)②		536	536	536	0			
正規職員所要時間		150	150	150				
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		1,698	1,824	1,760	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員のウォーキング指導の実践として、生涯学習・スポーツ課主催の健康ウォーキング教室の講師を務めていただいた。また、各公民館主催のウォーキング講座の講師として、スポーツ推進委員を活用していただいた。各公民館で開催するウォーキング事業が浸透してきているので、今後は企業の福利厚生事業との連携を図っていきたい。 ・ニュースポーツフェスティバルを2回開催し、多くの市民にニュースポーツの楽しさを知ってもらおうとともに、各地区でのニュースポーツ大会、体験会などの開催を支援した。 							
改革改善の考え方	①問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツフェスティバルの開催などにより、ワンバウンドふらばるバレーは一定の浸透が図られたので、新たなニュースポーツ種目振興への移行やニュースポーツフェスティバルの開催方法などを検討すべきである。 ・委嘱を受けて1期目の委員について、業務内容をできるだけ早く理解してもらうための、研修機会、指導体制づくりが 						
	②改革提案	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ニュースポーツ種目の体験会を開催し、参加者のニーズを今後のニュースポーツフェスティバル開催に反映させていく。 ・ニュースポーツフェスティバル実行委員に参画していただいた一般参加の委員を中心にして、大会の自主運営を進 						